

令和7年度 第1回 公共調達監視委員会議事録

日 時 令和7年7月4日（金） 14:00～15:00

会 場 鹿児島合同庁舎3階 第2会議室

出席委員（敬称略）

畑井 清隆（大学教授）

大脇 通孝（弁護士）

森 征一郎（税理士）

1 開会

2 総務課長あいさつ

3 委員長選出

畑井委員を委員長に選出

4 審査等

審査案件について、事務局の会計第一係長及び第二係長が公共調達監視委員会審査調書等により説明を行った。

説明終了後に委員からなされた質問、意見及びこれらに対する事務局の回答は以下のとおりである。

以下、質疑応答

<物品・役務等>

【競争入札：整理番号1】

ハローワークの業務のオンライン化に伴う環境の整備に係る機器の賃貸借業務一式（追加調達分）

（委員）追加調達を行った要因は何か。

（担当）初回調達を行った後、機器の不足が見込まれたためである。

（委員）オンラインハローワークの事業は令和7年3月から開始と説明があったが、本件の入札時点では稼働していないにもかかわらず、不足が見込まれることに違和感がある。機器が不足するとみなされた経緯をもう少し詳しく教えてほしい。

（担当）担当課の話によると、当初の想定では令和7年1月より稼働するものであり、機器の初回調達については令和6年9月末に契約を行った。初回調達分の機器納品後、各ハローワークにおいて、1月からの稼働に向けて慣熟訓練を行っていたが、運用面が具体化していく中で、当初の想定よりも機器が足りないハローワークが出てきたため、追加で調達を行ったものである。

（委員）初回調達分と追加調達分で契約単価等は異なるのか。追加分の方が単価

が高かったということであれば、初めから追加分も見越した数量にて調達していれば、安く済んでいたと思料する。

(担当) 初回分と追加分で調達台数が大幅に異なり、基本的には調達台数が少ない方が1台当たりの単価は高くなる傾向にあるが、本件については、ほぼ同一の単価であった。

(委員) 初回調達時点で見立てが甘かったのではないか。

(担当) ご指摘のとおりである。本件は初回分と追加分で単価がそこまで変わらなかったが、調達を行うにあたり想定される数量については、今後しっかり精査することとしたい。

【競争入札：整理番号2】

椅子等家具什器類その他備品の購入及び不要椅子等の引取り

●委員からの質問・意見等なし

【競争入札：整理番号3】

ハローワークの業務のオンライン化に伴う環境の整備に係る端末管理システムの構築

(委員) 一度不調に終わったということだが、その際は何者応札したのか。

(担当) 応札者はなかった。

(委員) 結果的にどのように契約業者を決めたのか。

(担当) 一度不調に終わったことを受け、仕様書の要件を見直したうえで再度入札を行い、その入札にて応札した業者と契約を行った。

【競争入札：整理番号4】

鹿児島労働局職業安定課外7拠点におけるシュレッダー等什器類購入

●委員からの質問・意見等なし

【随意契約：整理番号1】

鹿児島安定所外14拠点 郵便料金計器DM100型バッテリー交換

●委員からの質問・意見等なし

【随意契約：整理番号2】

書籍購入代(労働関係法のポイント)

●委員からの質問・意見等なし

【随意契約：整理番号3】

労働局管下23官署 消耗品購入代(防災用折りたたみヘルメット)

●委員からの質問・意見等なし

【随意契約：整理番号4】

国分・加世田公共職業安定所 複合機購入

(委員)ここまで落札率が低くなった原因は何か。

(担当)過去の複合機導入実績から定価からの値引き率を平均化し、現行品価格から値引きしたものに、年間コピーの使用料数に応じた保守料金も含めて予定価格を設定したが、こちらの見立てからかなり低い落札率となってしまった。
今後予定価格の設定の仕方を見直すこととしたい。

(委員)機器の金額は低いが、その後の保守・点検（コピー用紙等）にかかる費用はどうなっているのか。

(担当)当局では、4社の複合機を保有しているが、モノクロ、カラーともに今回の契約業者の保守料金が著しく高いということはない。

5 案件の承認

全案件について、委員からの異議はなく、すべて承認された。

6 閉会